

宇部市立中学校の新たなスポーツ・文化活動体制整備協議会 概要

1 日 時 令和7年9月30日（火） 15:00～17:00

2 場 所 宇部市本庁舎3階 会議室

3 概 要

会長（司会）

- ・令和7年4月から「部活動地域展開室」を設置し、コーディネーターを配置。
- ・他市（長門市、美祢市等）の先行事例はあるが、宇部市の規模では課題も多い。
- ・現状、全国的に見ても先進事例は1～2割。宇部市は今、大きな転換期にある。
- ・教員の働き方改革だけでなく、子どもたちの選択肢をどう確保するかが肝要である。

○部活動地域移行・地域展開の進捗状況について

宇部市観光スポーツ文化部 部活動地域展開室

(1)現状

- ・休日の部活動の地域展開に向けた試行実施や、指導員の派遣を進めている。
- ・吹奏楽などの文化活動においても、地域団体との連携を模索中。

(2)課題

- ・質、量ともに指導者の確保。
- ・受け皿となる地域クラブの運営基盤。
- ・保護者の費用負担や送迎の問題。

○「宇部市地域クラブ設立の手引き」の改定について

宇部市教育委員会 学校教育課

(1)主な改定点

- ・地域クラブ認定要件②「学校部活動を引き受ける団体であること」を削除。
- ・設立までのフローチャートの明確化。

(2)議論

- ・学校部活動の教育的意義を継承発展するという文言は残る。
- ・手引きが理想論に寄っていないか、現場が実行可能なレベルかどうかの検証が必要。

○意見交換

(1)指導者と質の確保

委員

指導者の質（不適切な指導の防止）をどう担保するのか。研修の義務化が必要ではないか。

事務局

指導員登録制度を設けているが、今後はより専門的な講習の受講を条件にするなどの検討が必要。

委員

14%の教職員が引き続き指導を希望している。この方々の力を適正に借りるべき。

(2) 受け皿（地域クラブ）の現状と課題

委員

吹奏楽は、楽器の所有や移動、練習場所の確保がスポーツ以上に困難。

委員

すべての部活動を100%地域に移行するのは、現状の宇部市の基盤では非常に厳しい。

委員

以前の協議会では、クラブ名に「宇部」を、あまり付けないようにしようという話があった。

(3) 保護者の視点

委員

保護者の不信感や不安が強い。月謝が高くなることへの懸念や、送迎ができない家庭の子どもが取り残される心配がある。

(4) 学校現場の疲弊

委員

- ・他市町において期限を示した上での地域展開が進んでいるなかで、本市においては、期限が設けられていないことに対する職員の不安や不満の声が多い。
- ・部活動の廃止を前提とした推進を図っていただきたい。「部活動が残ることもあり得る」というところは現場の意見を反映されたものとは捉えにくい。
- ・部活動顧問が地域クラブを立ち上げることに對して、学校の力では限界があるため、市が統括した運営体制を構築してほしい。
- ・ブロック制を含めた具体的な案を提示して、促進を図っていく必要があるのではないか。

○まとめと今後の方向性

会長

- ・「100%の地域移行」は現時点では困難であることを共通認識とする必要がある。
- ・学校の疲弊と保護者の不信感を払拭するため、行政と地域が連携して新しい形（宇部モデル）を再検討する。
- ・協議会の開催頻度を高め、今年度中にもう一度開催し、より具体的な解決策を議論する。

次回予定

次回第14回協議会を年内に、第15回協議会は年度末に開催し、今後の方針を決定したい。